

長崎と天草地方の 潜伏キリシタン関連遺産

世界遺産登録推薦書
2017年日本





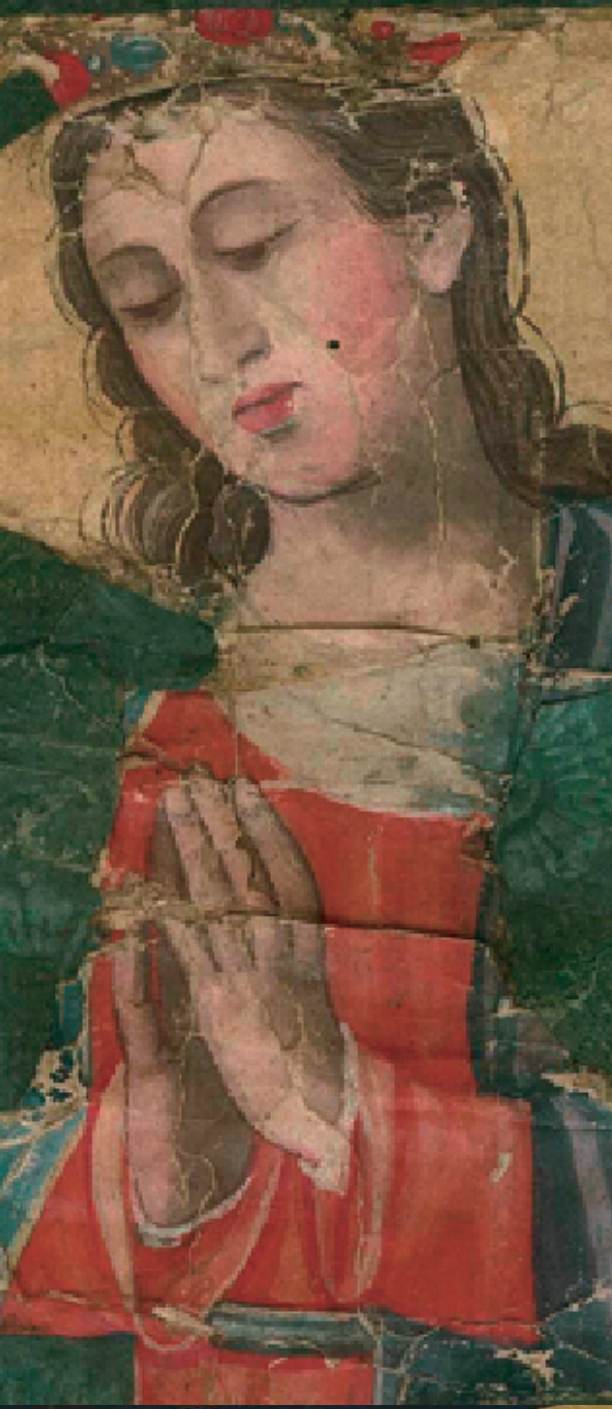
《概要》

長崎と天草地方の 潜伏キリシタン関連遺産

Hidden Christian Sites in the Nagasaki Region







[illegible]

締約国

日本

地方

長崎県・熊本県

資産の名称

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

座標

番号	構成資産の名称	所在地	経度	緯度
001	原城跡	長崎県南島原市	N 32°37'44"	E 130°15'16"
002	平戸の聖地と集落(春日集落と安満岳)	長崎県平戸市	N 33°20'22"	E 129°26'38"
003	平戸の聖地と集落(中江ノ島)	長崎県平戸市	N 33°22'25"	E 129°27'52"
004	天草の崎津集落	熊本県天草市	N 32°18'44"	E 130°1'33"
005	外海の出津集落	長崎県長崎市	N 32°50'42"	E 129°42'2"
006	外海の大野集落	長崎県長崎市	N 32°51'53"	E 129°41'9"
007	黒島の集落	長崎県佐世保市	N 33°8'21"	E 129°32'13"
008	野崎島の集落跡	長崎県北松浦郡小値賀町	N 33°11'13"	E 129°7'46"
009	頭ヶ島の集落	長崎県南松浦郡新上五島町	N 33°0'44"	E 129°10'58"
010	久賀島の集落	長崎県五島市	N 32°48'8"	E 128°54'14"
011	奈留島の江上集落(江上天主堂とその周辺)	長崎県五島市	N 32°47'26"	E 128°52'48"
012	大浦天主堂	長崎県長崎市	N 32°44'3"	E 129°52'12"

資産の境界に関する記述

本資産は、長崎と天草地方の潜伏キリシタンが禁教期に密かに信仰を続ける中で育んだ独特の文化的伝統を示す 12 の構成資産により構成されている。それらは、16 世紀にヨーロッパ人宣教師の活動拠点となった長崎と天草地方の西海岸や、禁教期に潜伏キリシタンが移住した離島の島々に点在している。

原城跡及び大浦天主堂の境界は、文化財保護法に基づいて国の史跡に指定された範囲と一致する。その他の構成資産の境界は、禁教期以来の土地利用が残された範囲に一致しており、範囲内には禁教期の指導者の屋敷跡、潜伏キリシタンの墓地、密かな信仰対象などが存在する。その範囲は、文化財保護法等の法令により保護されている。

緩衝地帯は、本資産の顕著な普遍的価値に負の影響が及ぶことを未然に防ぎ、周辺環境と調和した景観の維持・形成を図るために、各構成資産に設定されている。その境界は、構成資産と一体感のある周辺環境及び資産の保護に必要十分な範囲について、視認範囲、自然地形、土地境界及び行政界などを考慮して設定されている。

資産及び緩衝地帯の地図

11 ページから 36 ページに示すとおり。

評価基準への適合

評価基準 (iii)

顕著な普遍的価値の言明

a. 総合的所見

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、17 世紀から 19 世紀の 2 世紀以上にわたるキリスト教禁教政策の下で密かに信仰を伝えた人々の歴史を物語る他に例を見ない証拠である。本資産は、日本の最西端に位置する離島を含む地において潜伏キリシタンがどのようにして既存の社会・宗教と関わりつつ信仰を継続していったのか、そして近代に入り禁教が解かれた後、彼らの宗教的伝統がどのように徐々に変容・終焉し、近代を迎えていったのかを示している。

本資産は、大航海時代にキリスト教が伝わったアジアの東端にあたる、日本列島の最西端に位置する長崎と天草地方に所在する 12 の構成資産から成る。16 世紀後半に海外との交流の窓口であった長崎と天草地方に定住した宣教師の指導を直接的かつ長期間にわたって受けた長崎と天草地方の民衆の間には、他の地域に比べて強固な信仰組織が形成された。このような状況のもとで、17 世紀の江戸幕府による禁教政策により日本国内から全ての宣教師が不在となった後も、長崎と天草地方では少なからぬカトリック教徒が、小規模な信仰組織を維持して信仰を自ら継続し、「潜伏キリシタン」となって存続した。

潜伏キリシタンは、信仰組織の単位で小さな集落を形成して信仰を維持し、そうした集落は海岸沿い、又は禁教時代に移住先となった離島に形成された。2 世紀を越える世界的にも稀な長期にわたる禁教の中で、それぞれの集落では一見すると日本の在来宗教のように見える固有の信仰形態が育まれた。

本資産は、12 の異なる構成資産が総体となって、潜伏キリシタンの伝統についての深い理解を可能としている。本資産は、禁教政策下において形成された潜伏キリシタンの信仰の継続に関わる独特の伝統の証拠であり、長期にわたる禁教政策の下で育まれたこの独特の文化的伝統の在り方を示す本資産は、顕著な普遍的価値を有する。

b. 評価基準への適合性証明

評価基準 (iii)

本資産は、長崎と天草地方の潜伏キリシタンが禁教期に密かに信仰を継続する中で育んだ独特の宗教的伝統を物語る証拠である。

潜伏キリシタンは、禁教期に密かに固有の信仰を伝えることによって独特の宗教的伝統を育んだ。のちにこの伝統は、禁教が解かれる新たな局面に直面し、その終焉に向けて徐々に変容したものであるが、本資産の 12 の構成資産はこの一連の過程を完全に表現している。

c. 完全性の言明

本資産は、長崎と天草地方の潜伏キリシタンが禁教期に密かに信仰を継続する中で育んだ宗教に関する独特の伝統を物語る 12 の構成資産から成る。これらの 12 の構成資産は、資産の顕著な普遍的価値を表すすべての要素を含んでいる。その範囲は適切に設定され、いずれも保存状態は良好である。

構成資産は、文化財保護法など適切な国の法律及び規則で、万全の保護措置が講じられている。緩衝地帯は、文化財保護法その他、景観法その他の関係する法律及び規則で適切な保護が図られている。従って各構成資産は、開発又は管理放棄による負の影響は受けておらず、周辺環境とともに良好に保全されている。

d. 真実性の言明

個々の構成資産は、その性質により選択した属性に基づき、高い水準の真実性を維持している。各集落は、「形状・意匠」、「用途・機能」、「伝統、技能、管理体制」、「位置・環境」、「精神・感性」の各属性に基づく高い真実性を保持している。考古遺跡である原城跡は、上記のうち「用途・機能」の真実性は失っているが、それ以外の真実性は保持している。大浦天主堂及び奈留島の江上集落（江上天主堂とその周辺）における江上天主堂は、上記の属性に加え建築としての「材料・材質」においても高い真実性を保持している。

e. 保存管理

構成資産及び緩衝地帯は、文化財保護法をはじめとする諸法令により保全されている。また、関係地方公共団体は、資産全体が有する顕著な普遍的価値を一体的に保護する観点から「包括的保存管理計画」を策定し、その実行体制として、所有者その他の関係者とともに「世界遺産保存活用協議会」を設置した。この協議会は、資産の適切な保存・整備・活用のために活動する。この協議会は、文化遺産の保護に係る主務官庁である文化庁のほか、「長崎世界遺産学術委員会」の専門家による指導・助言を受ける。

連絡先

文化庁 文化財部記念物課 世界文化遺産室

住所：〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3 丁目 2 番 2 号

Tel: 03-6734-2877

Fax: 03-6734-3822

E-mail: w-isan@mext.go.jp

Web address: <http://www.bunka.go.jp/>

長崎県 文化観光国際部 世界遺産登録推進課

住所：〒850-8570 長崎県長崎市江戸町 2 番 13 号

Tel: 095-824-1111

Fax: 095-894-3485

E-mail: s38020@pref.nagasaki.lg.jp

Web address: http://www.pref.nagasaki.jp/s_isan/

熊本県 企画振興部 文化企画・世界遺産推進課

住所：〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺 6 丁目 18 番 1 号

Tel: 096-383-1111

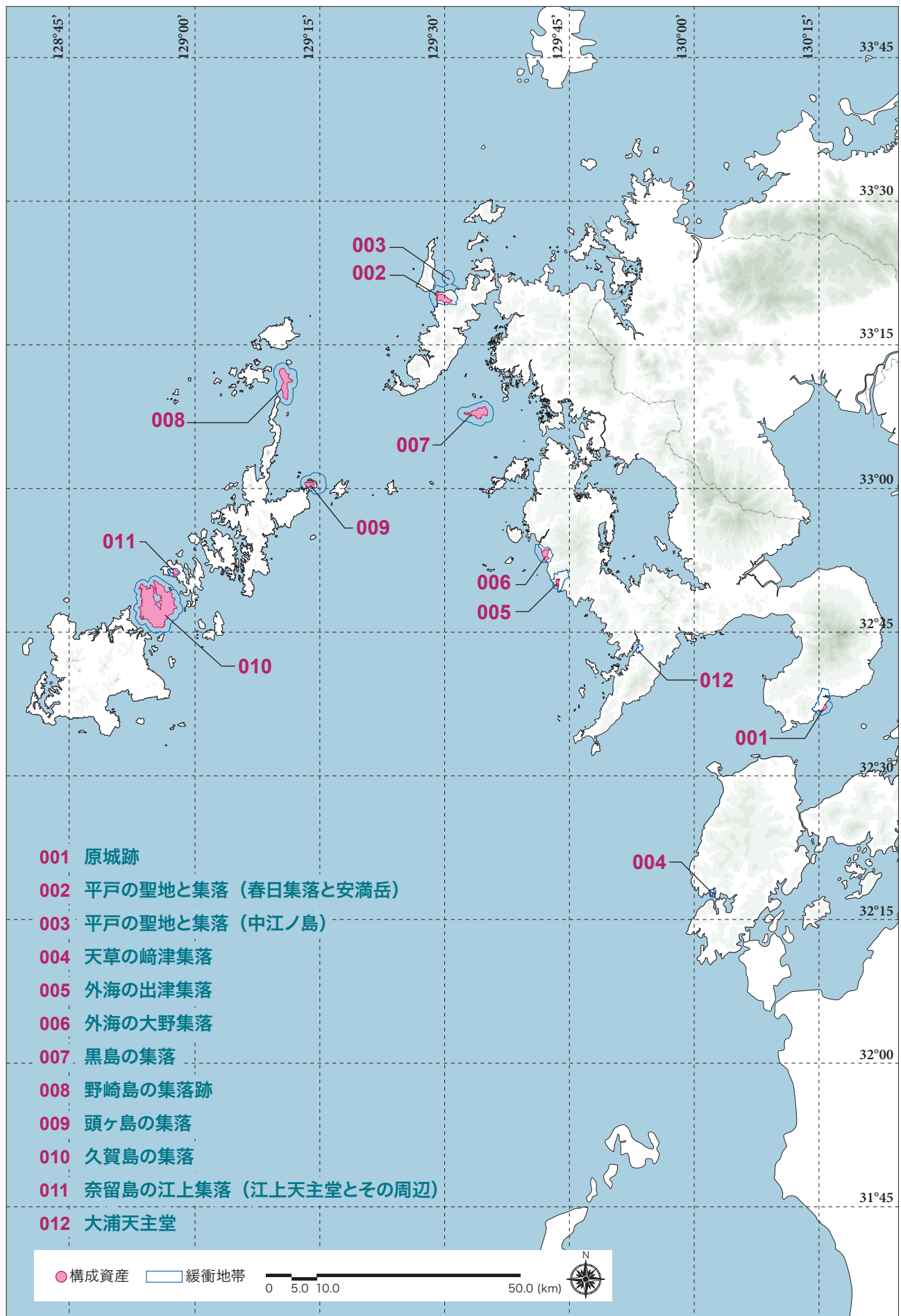
Fax: 096-381-9829

E-mail: bunkasekai@pref.kumamoto.lg.jp

Web address: <http://www.pref.kumamoto.jp>

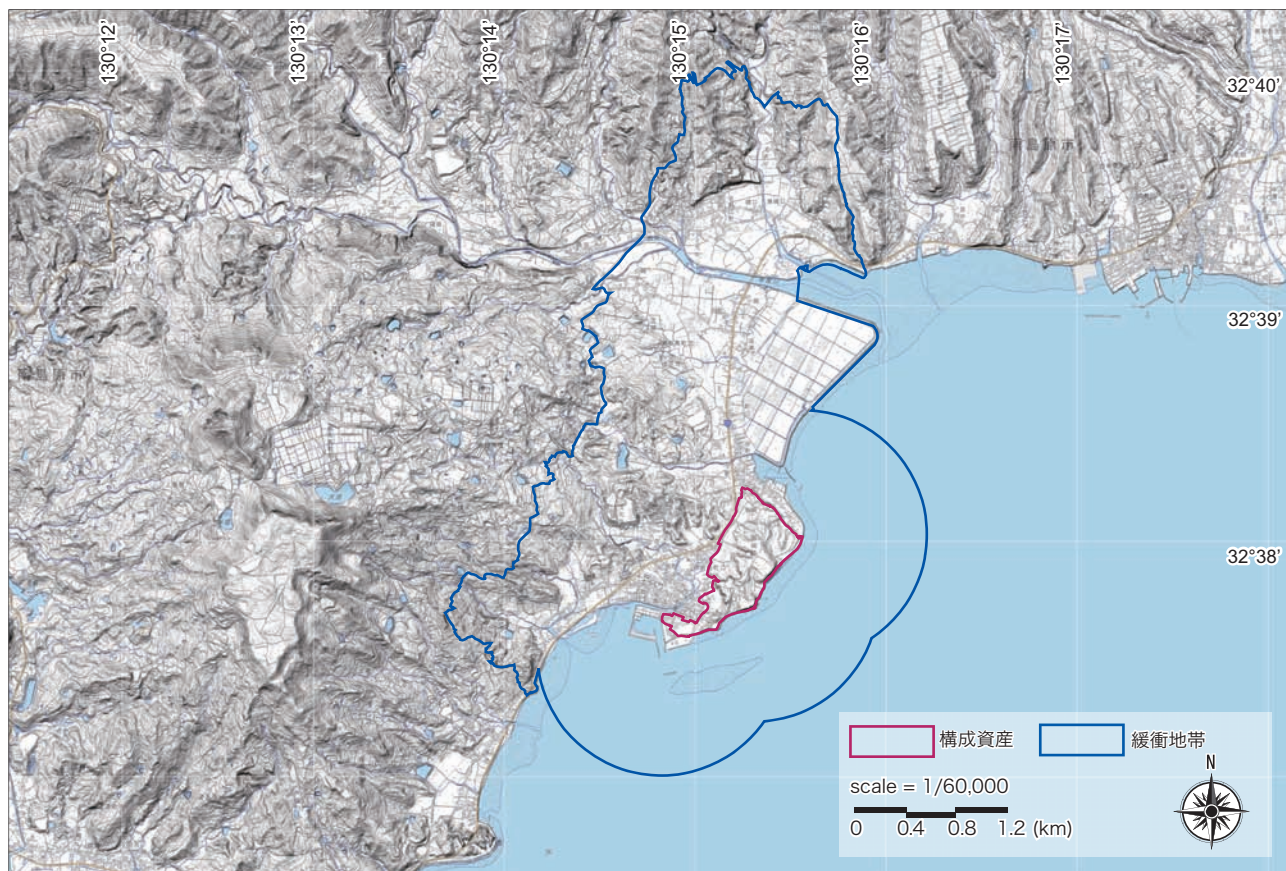


アジアにおける日本及び長崎県・熊本県の位置図



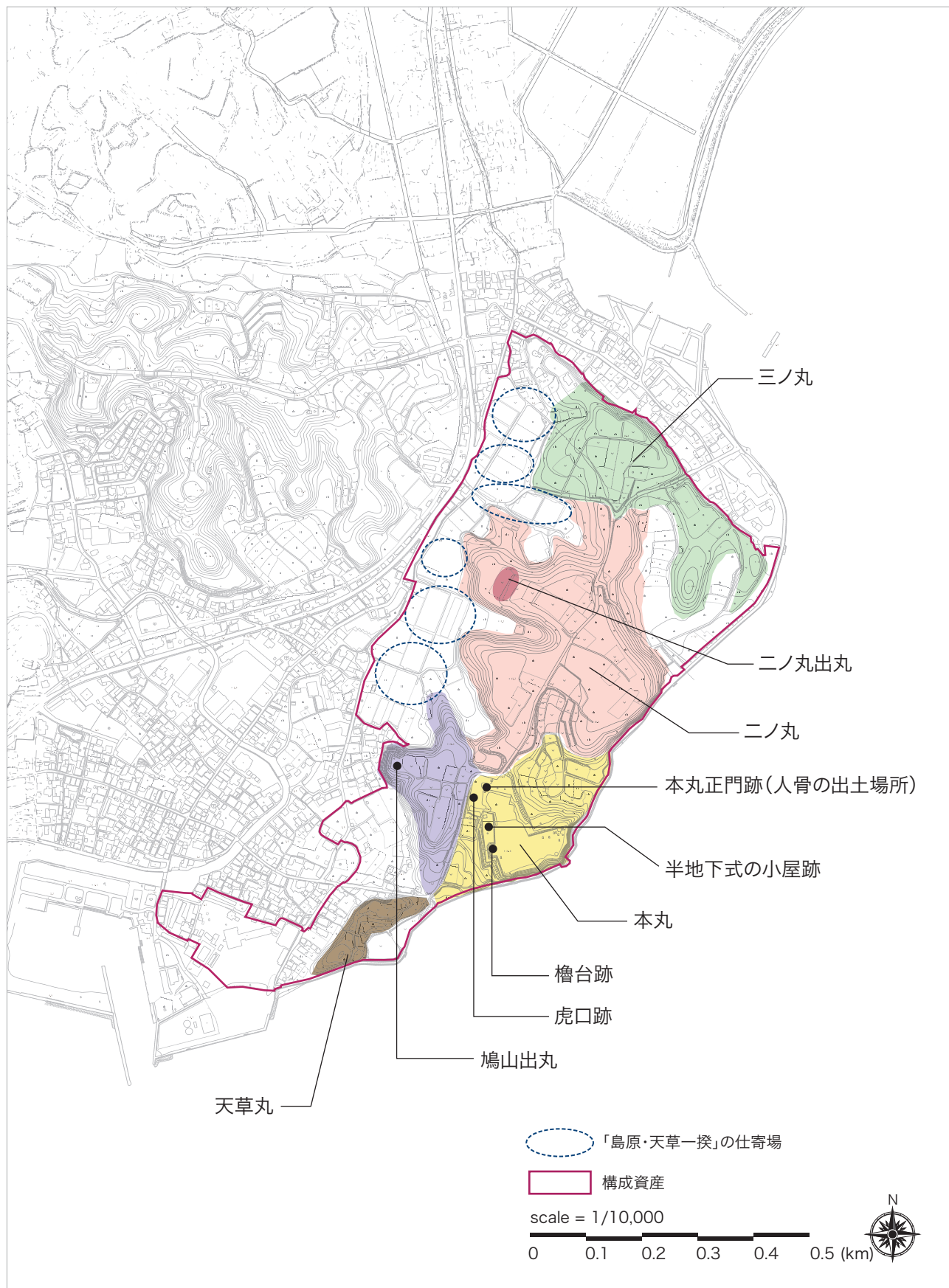
推薦資産及び緩衝地帯の位置図

001 原城跡



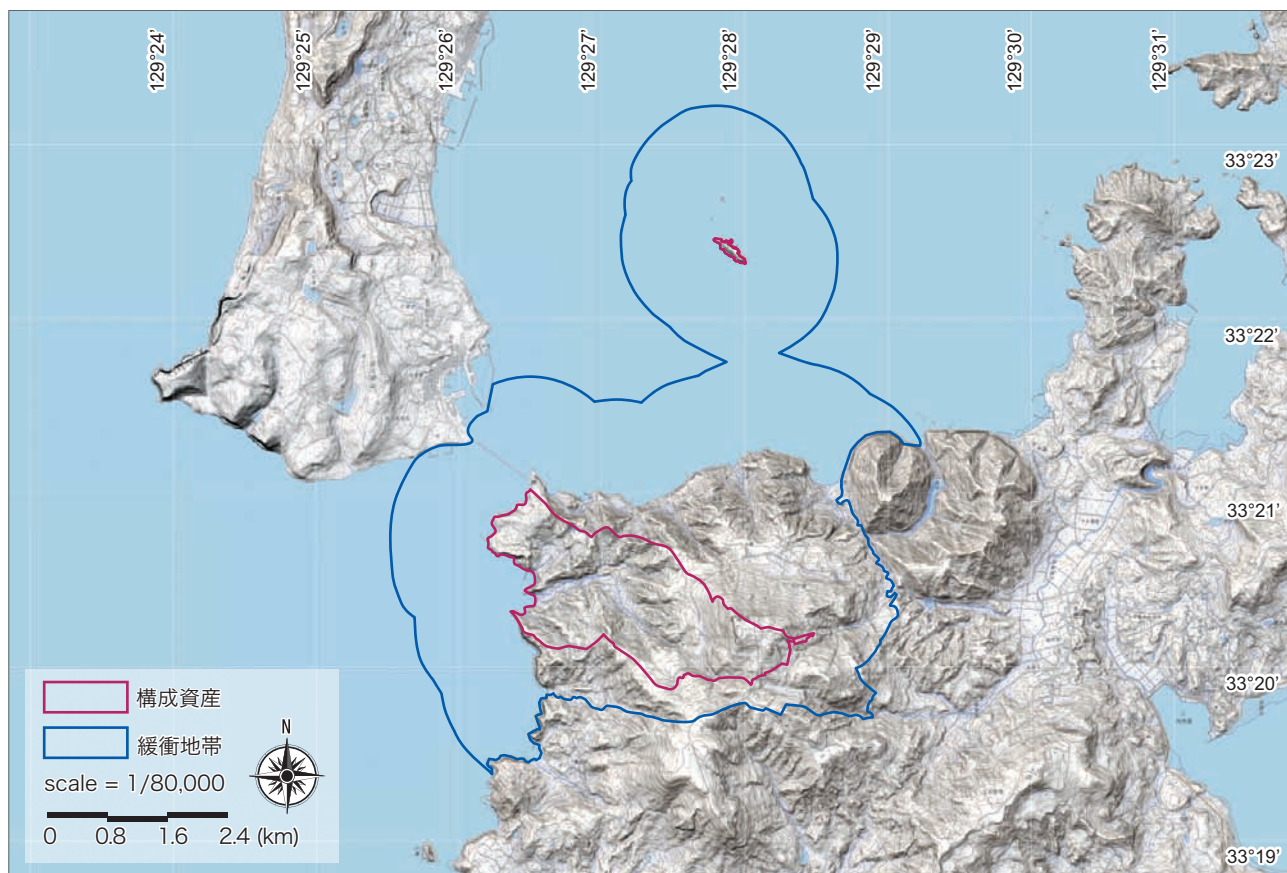
資産及び緩衝地帯の範囲図





資産拡大図(001 原城跡)

002, 003 平戸の聖地と集落



資産及び緩衝地帯の範囲図

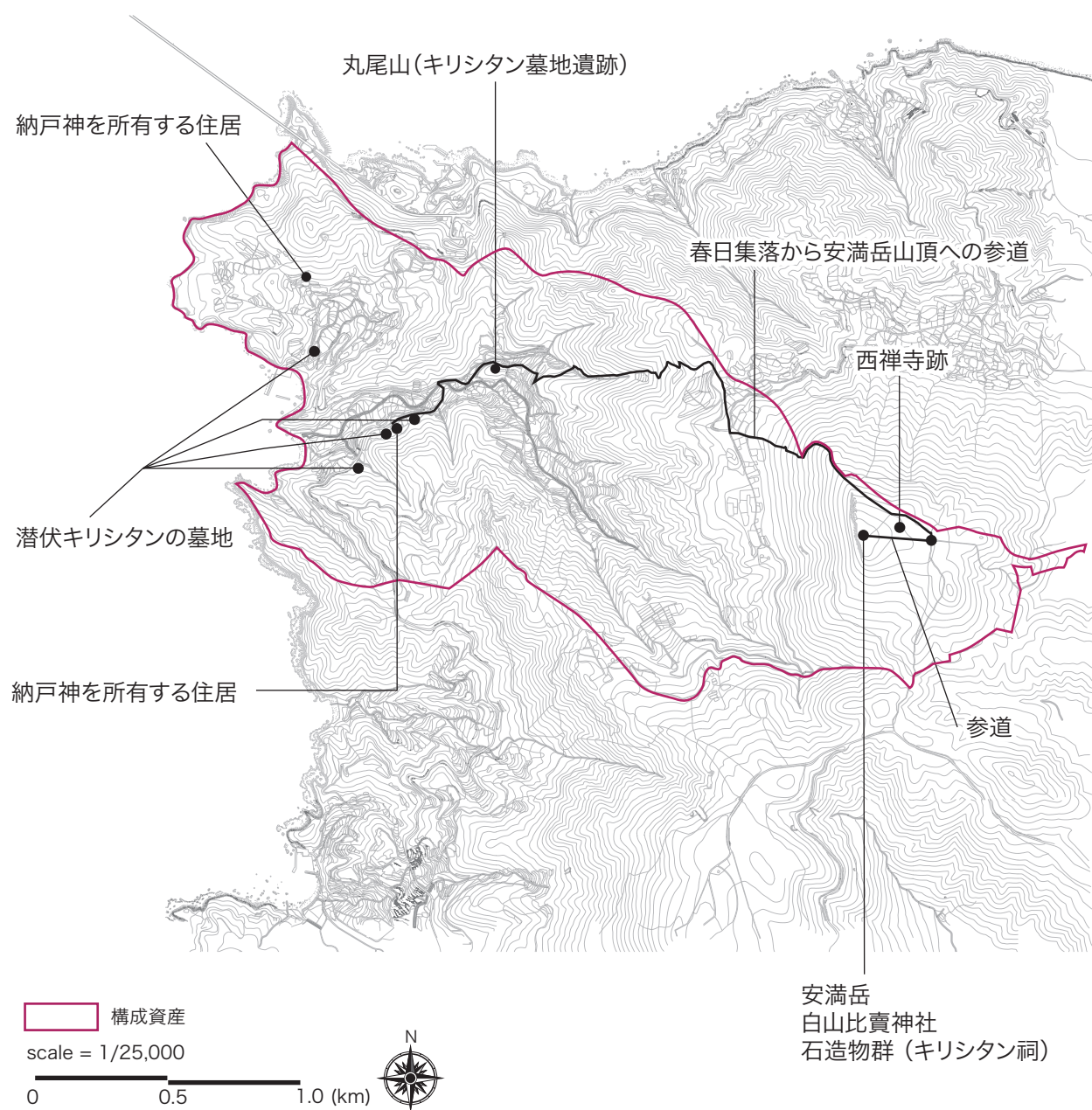


002

平戸の聖地と集落(春日集落と安満岳)

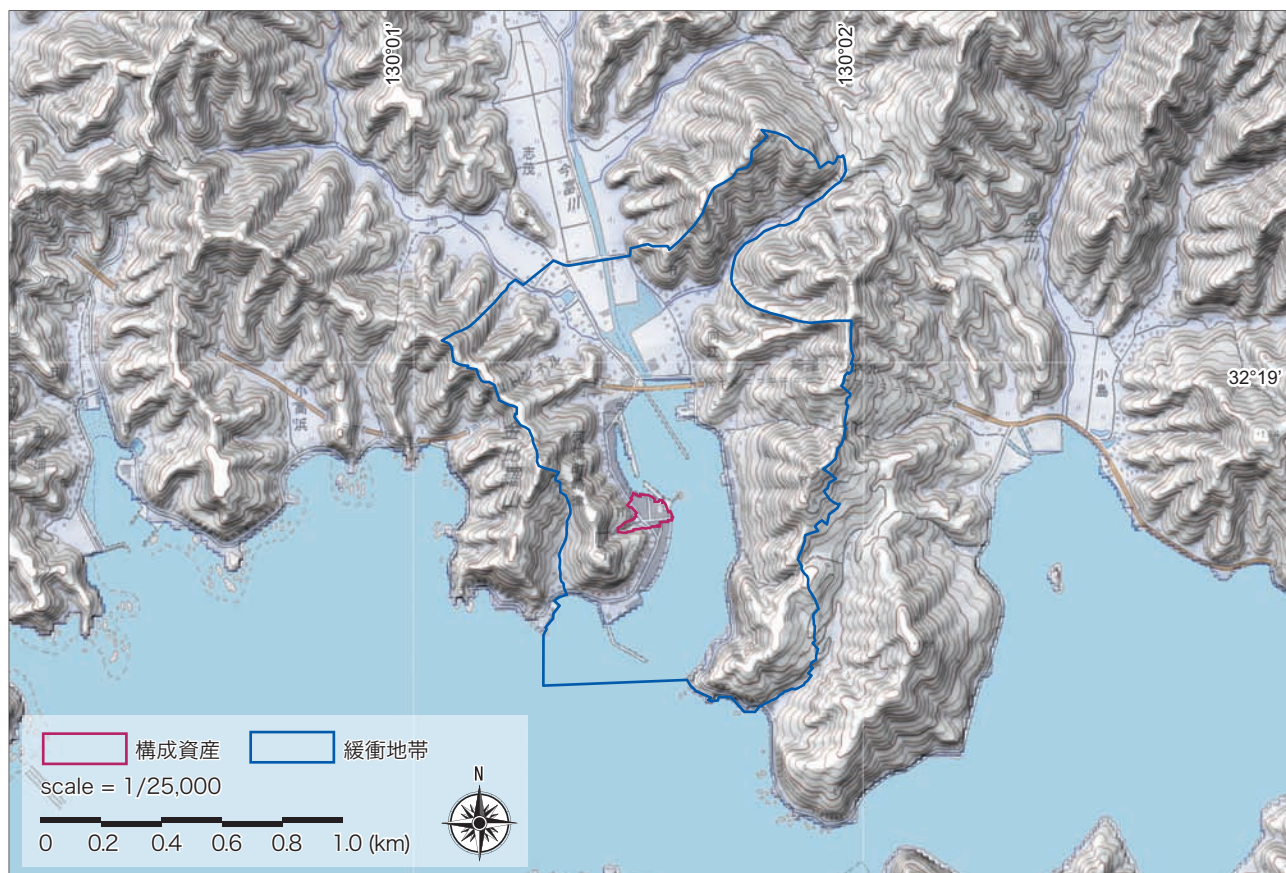
003

平戸の聖地と集落(中江ノ島)



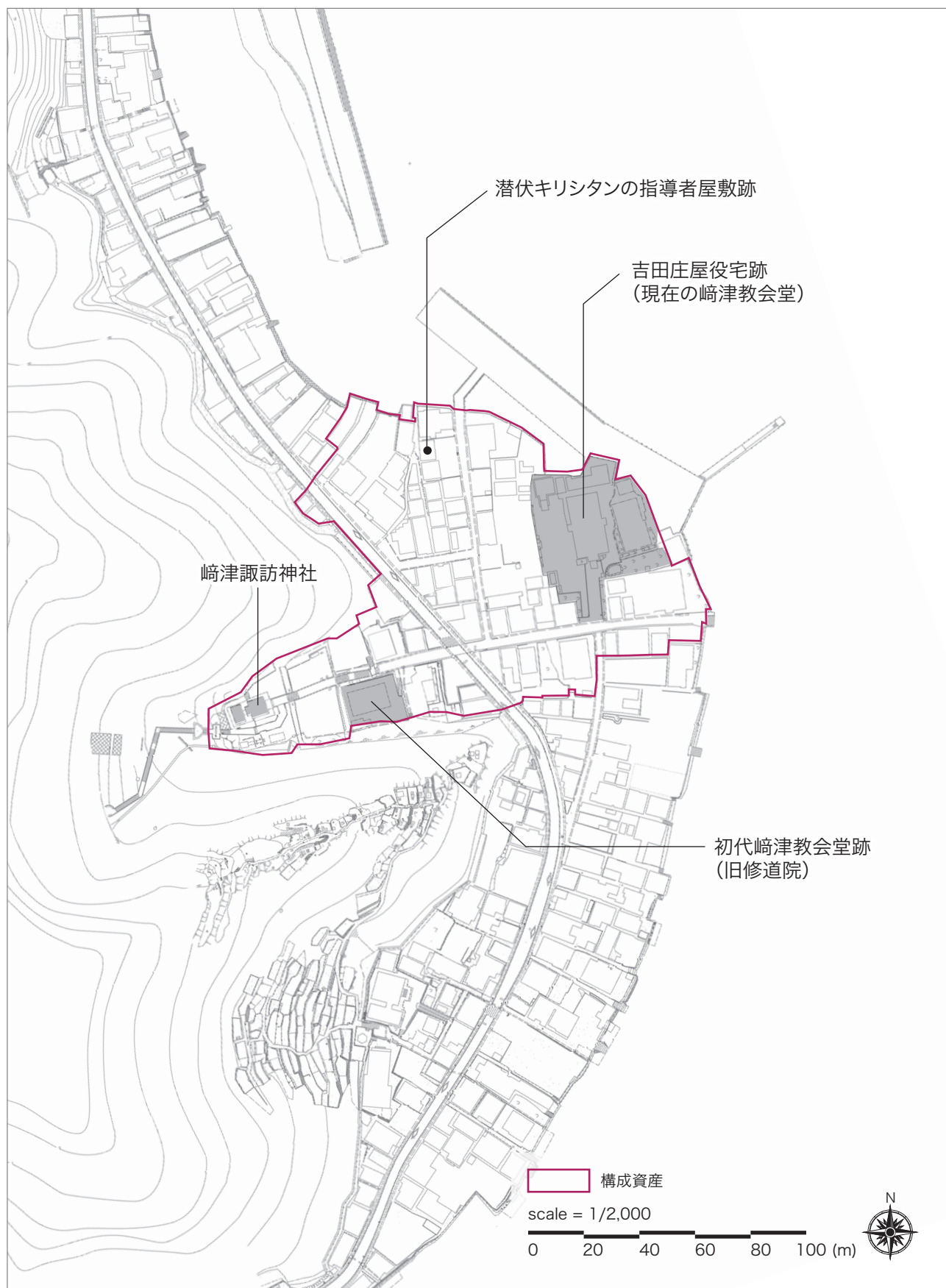
資産拡大図(002, 003 平戸の聖地と集落)

004 天草の崎津集落



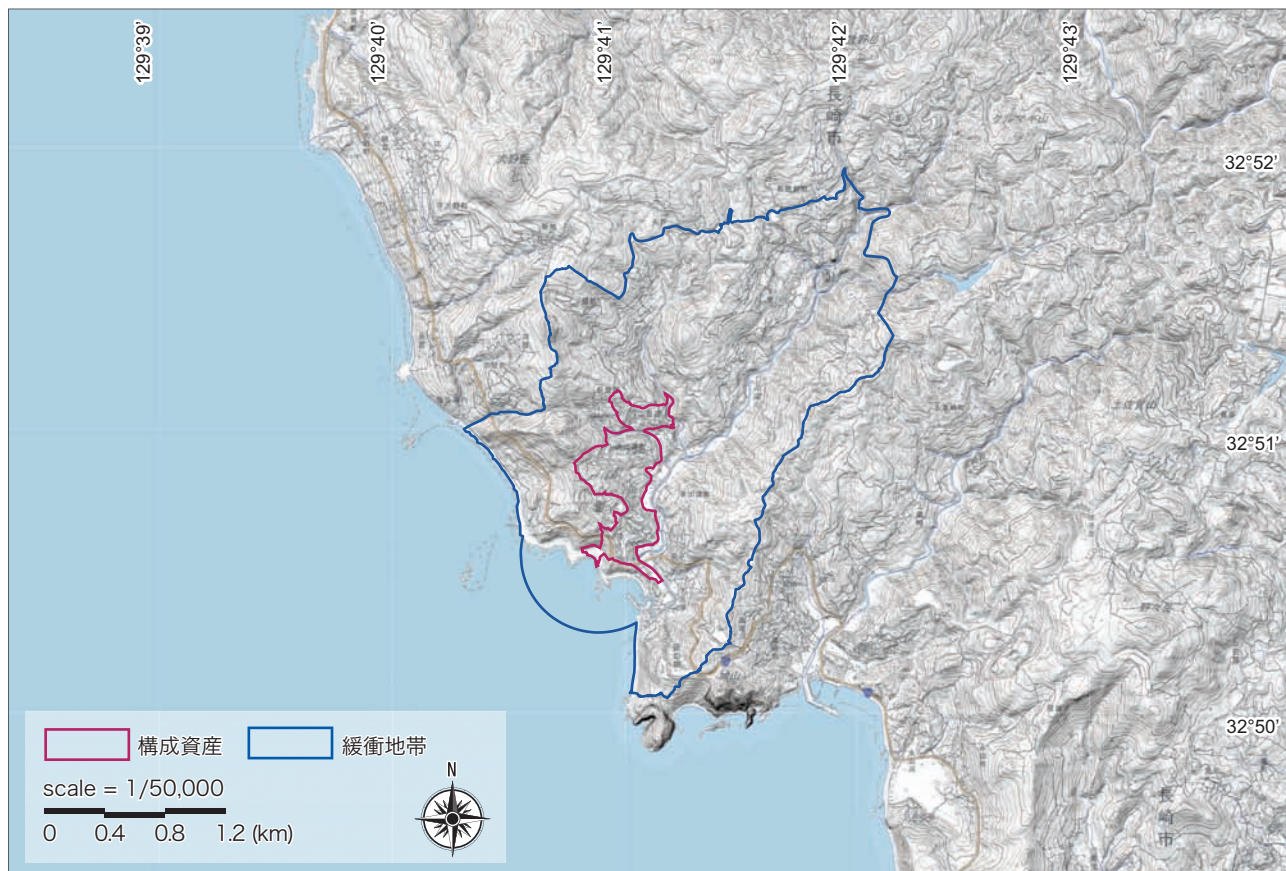
資産及び緩衝地帯の範囲図





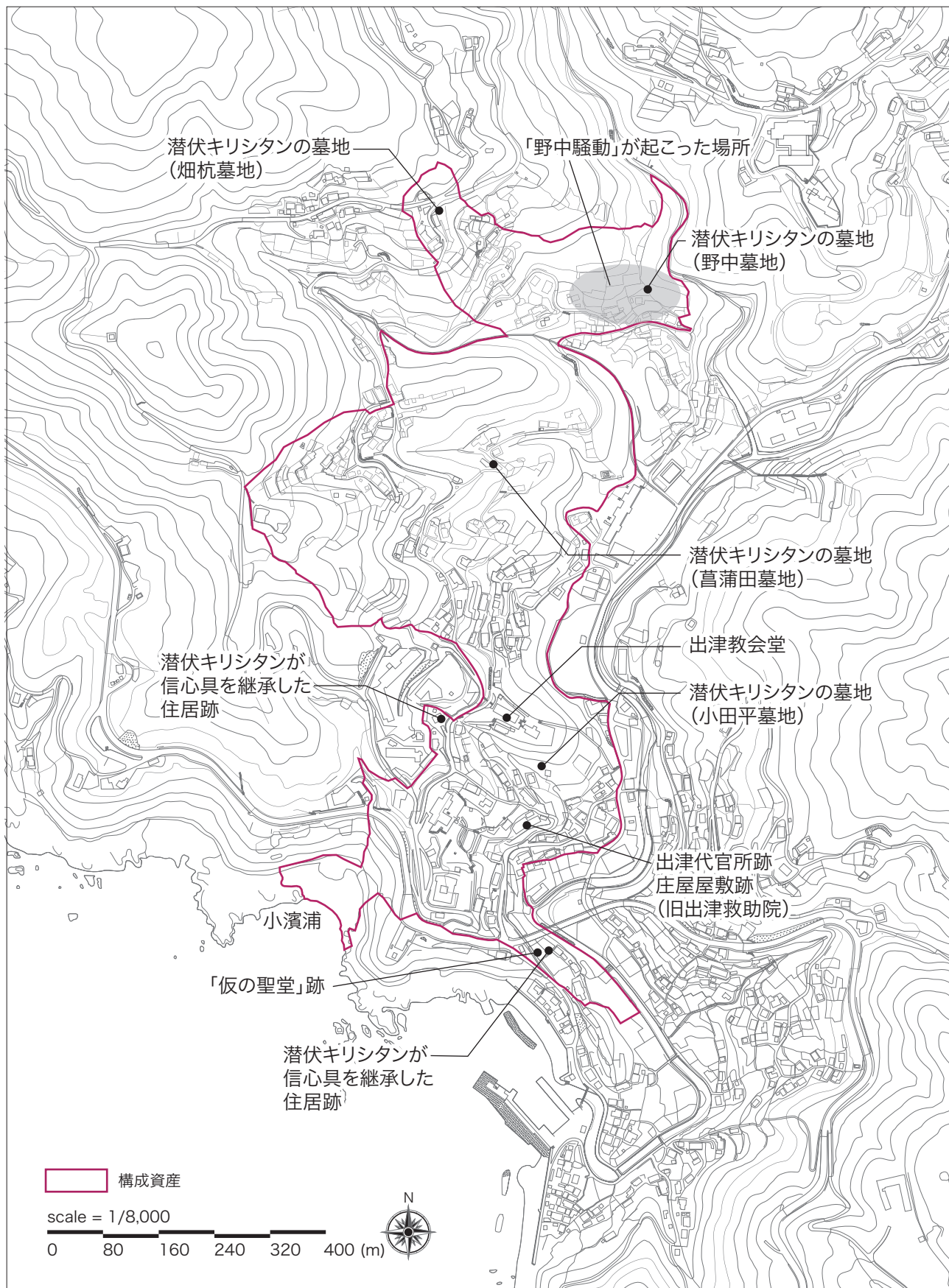
資産拡大図(004 天草の崎津集落)

005 外海の出津集落



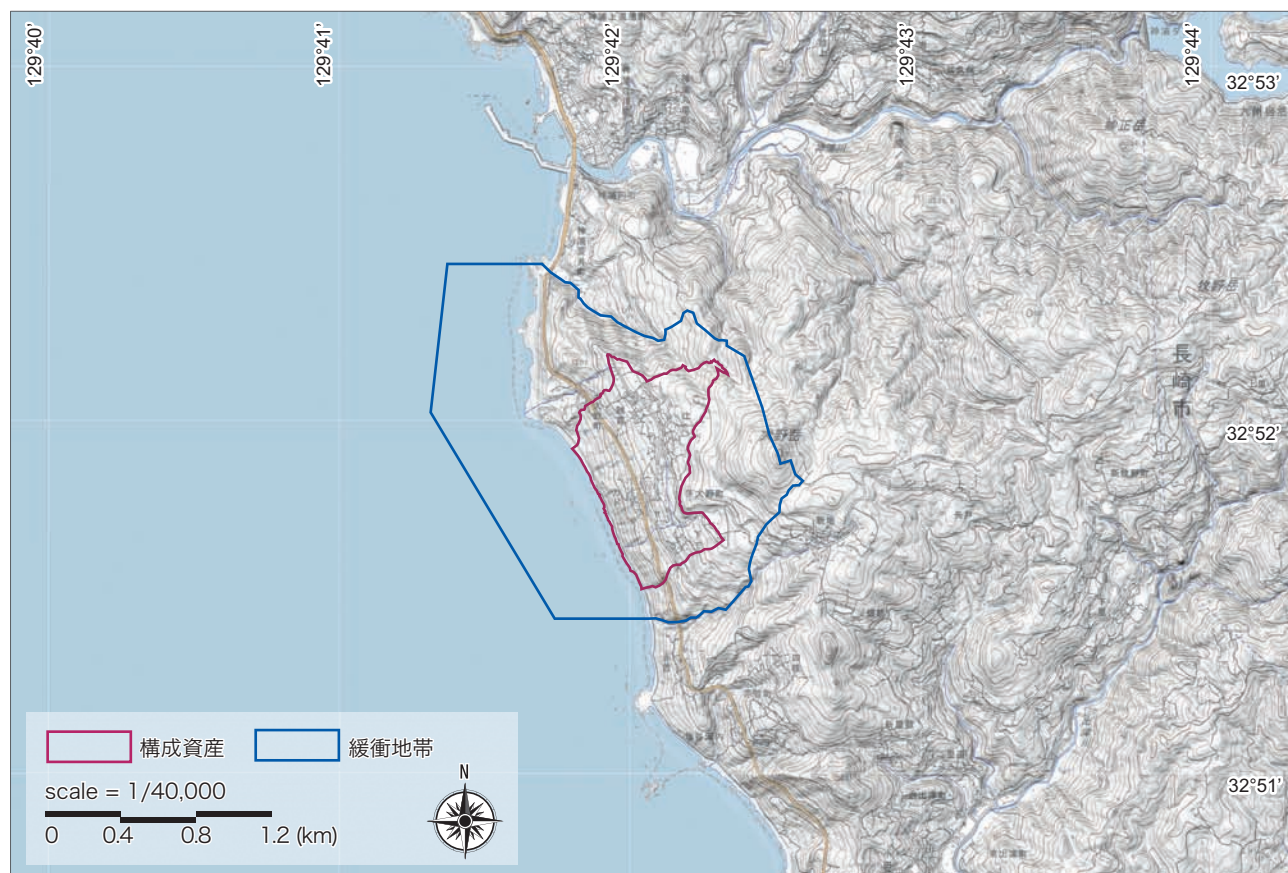
資産及び緩衝地帯の範囲図





資産拡大図(005 外海の出津集落)

006 外海の大野集落



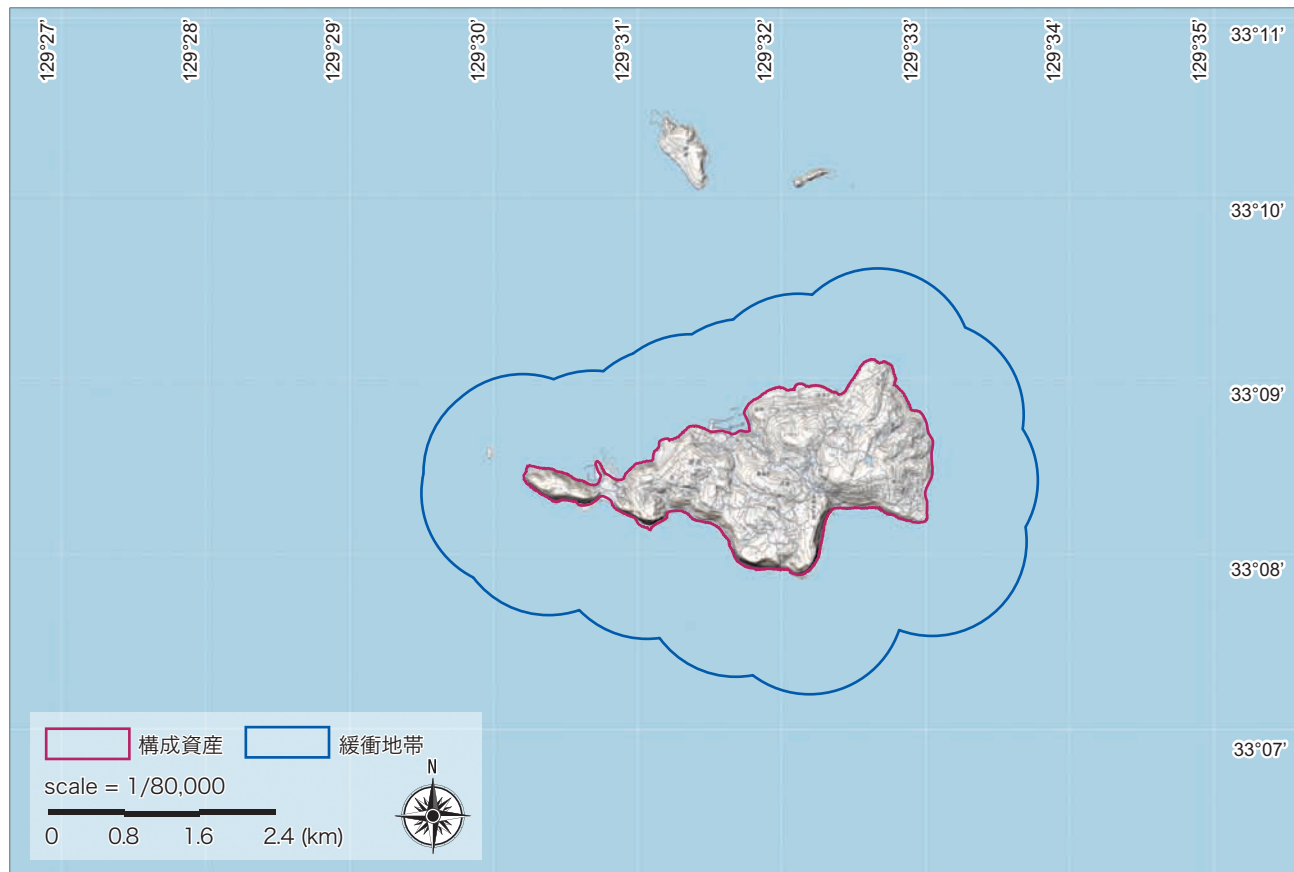
資産及び緩衝地帯の範囲図





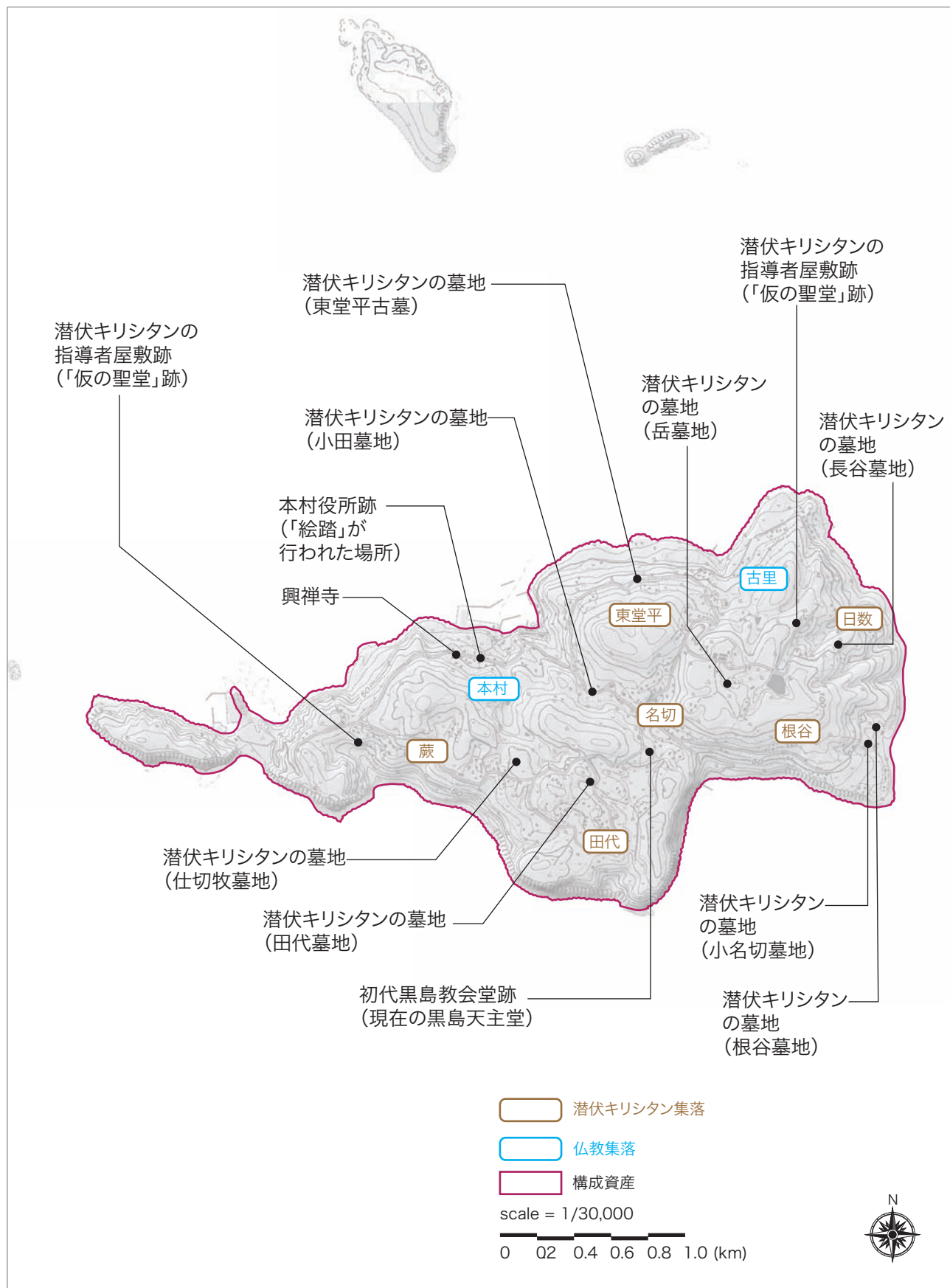
資産拡大図(006 外海の大野集落)

007 黒島の集落



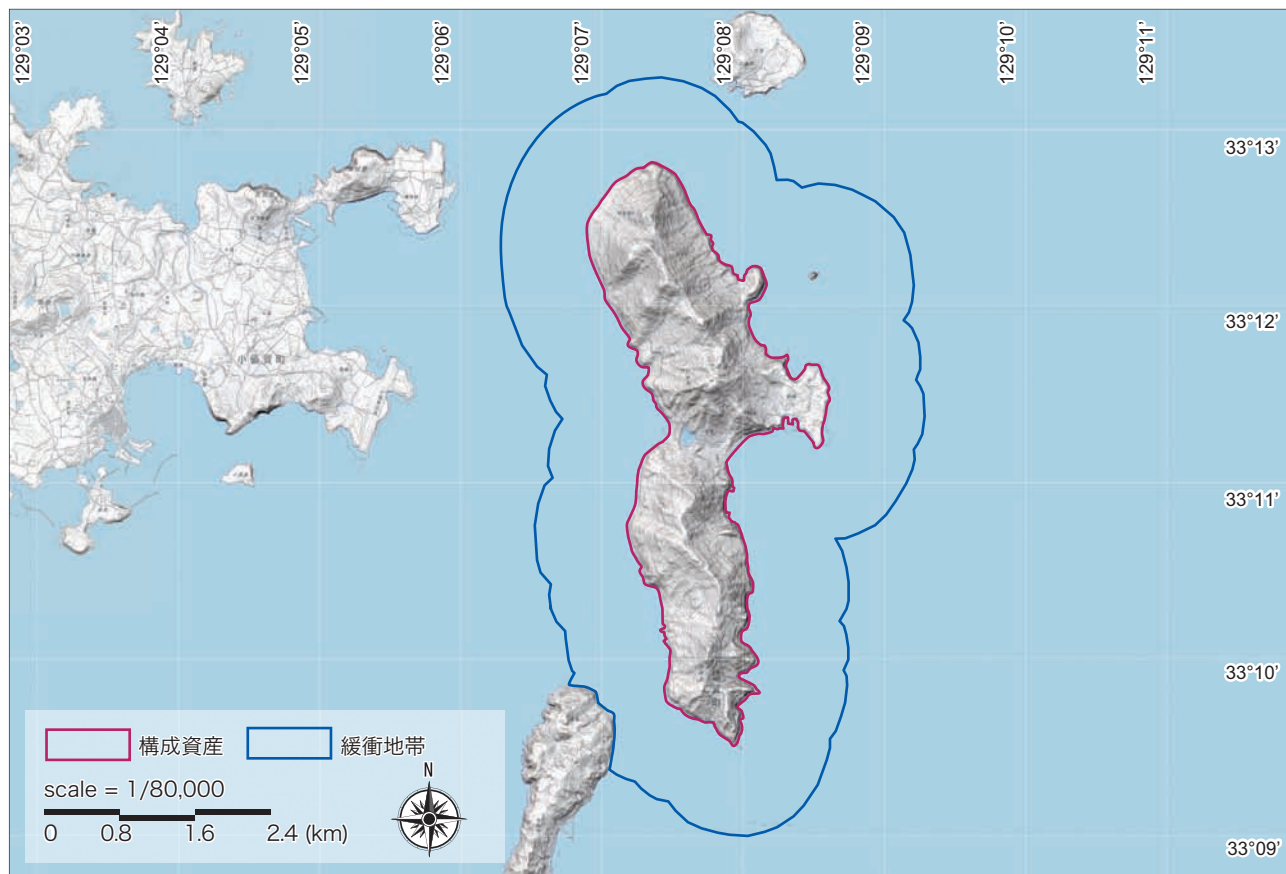
資産及び緩衝地帯の範囲図





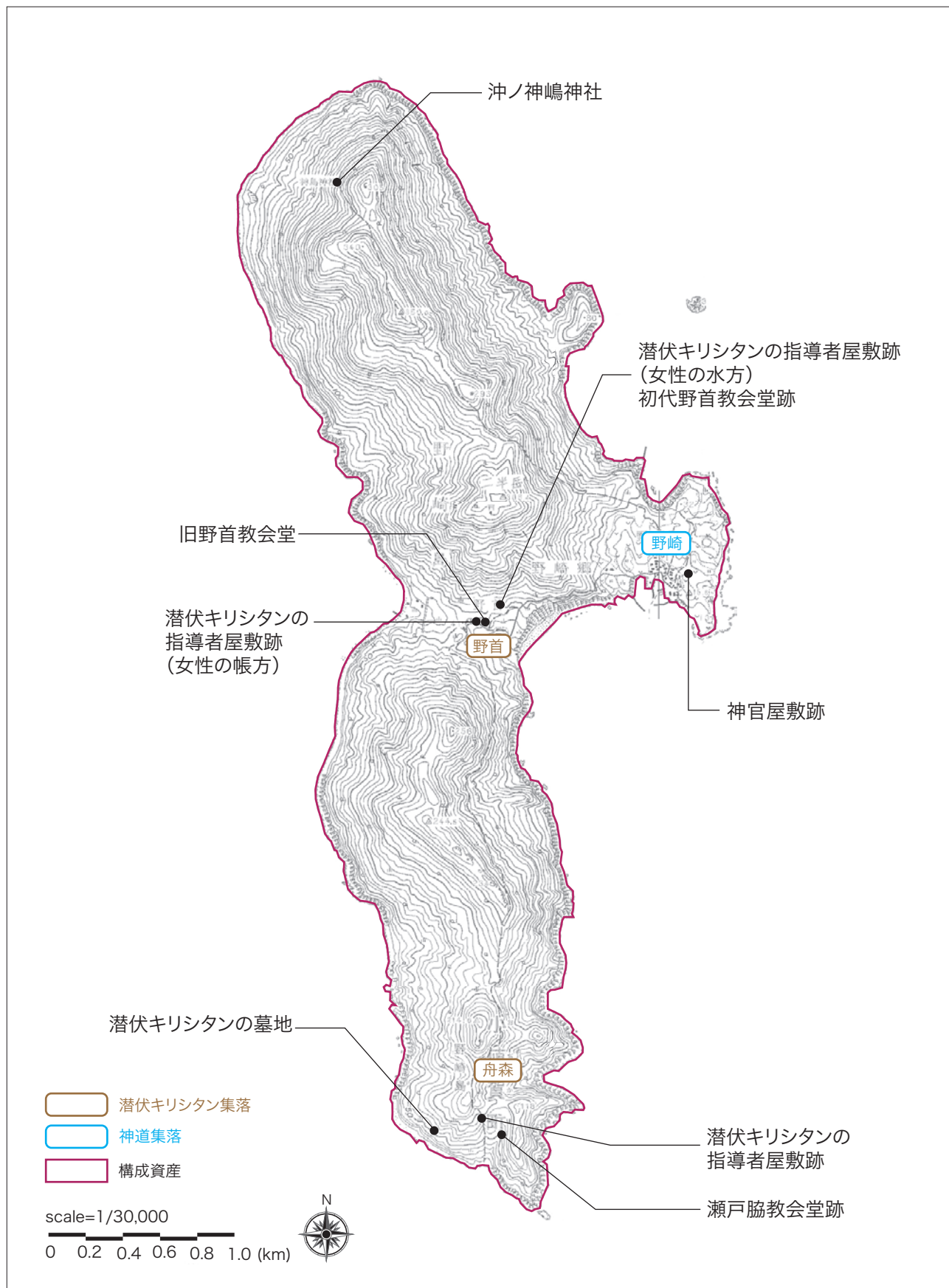
資産拡大図(007 黒島の集落)

008 野崎島の集落跡



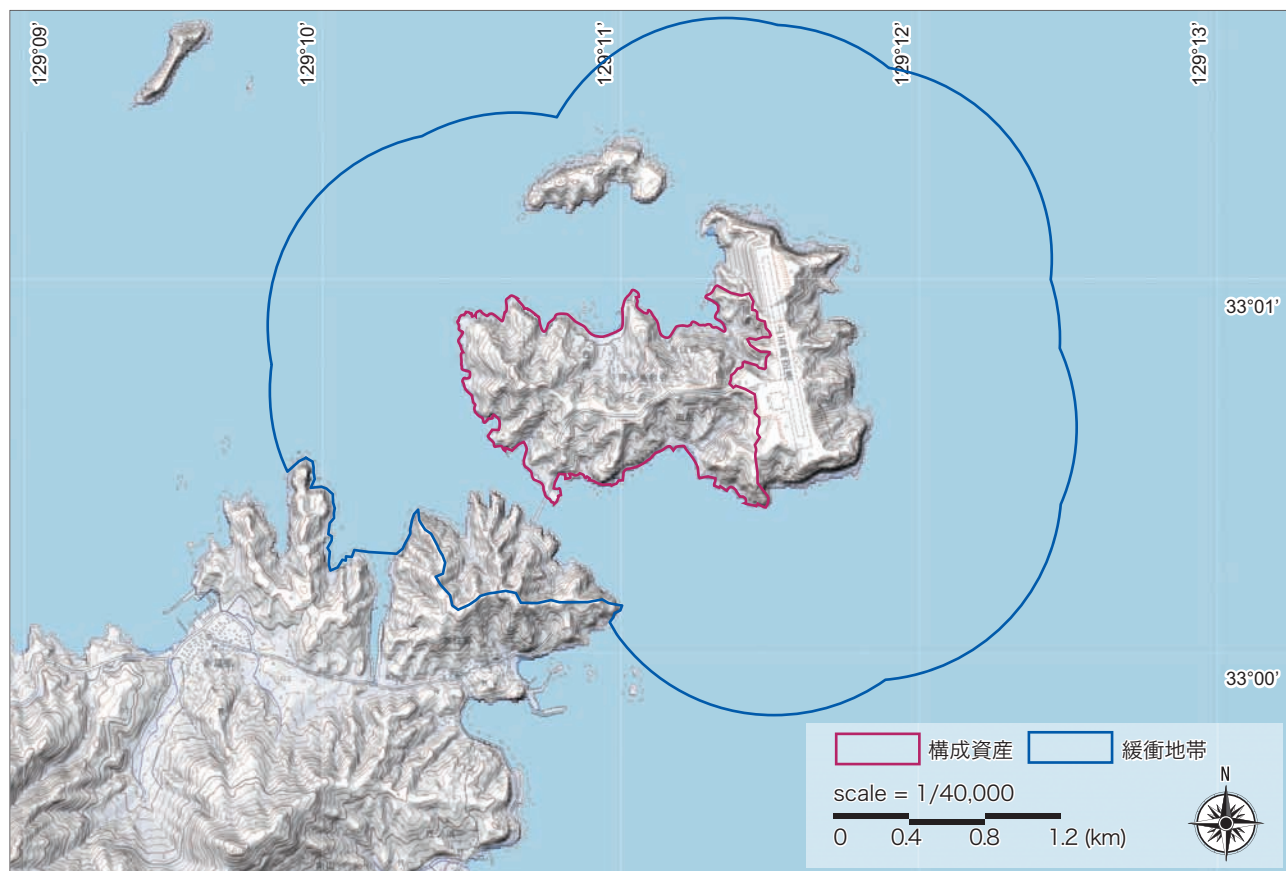
資産及び緩衝地帯の範囲図





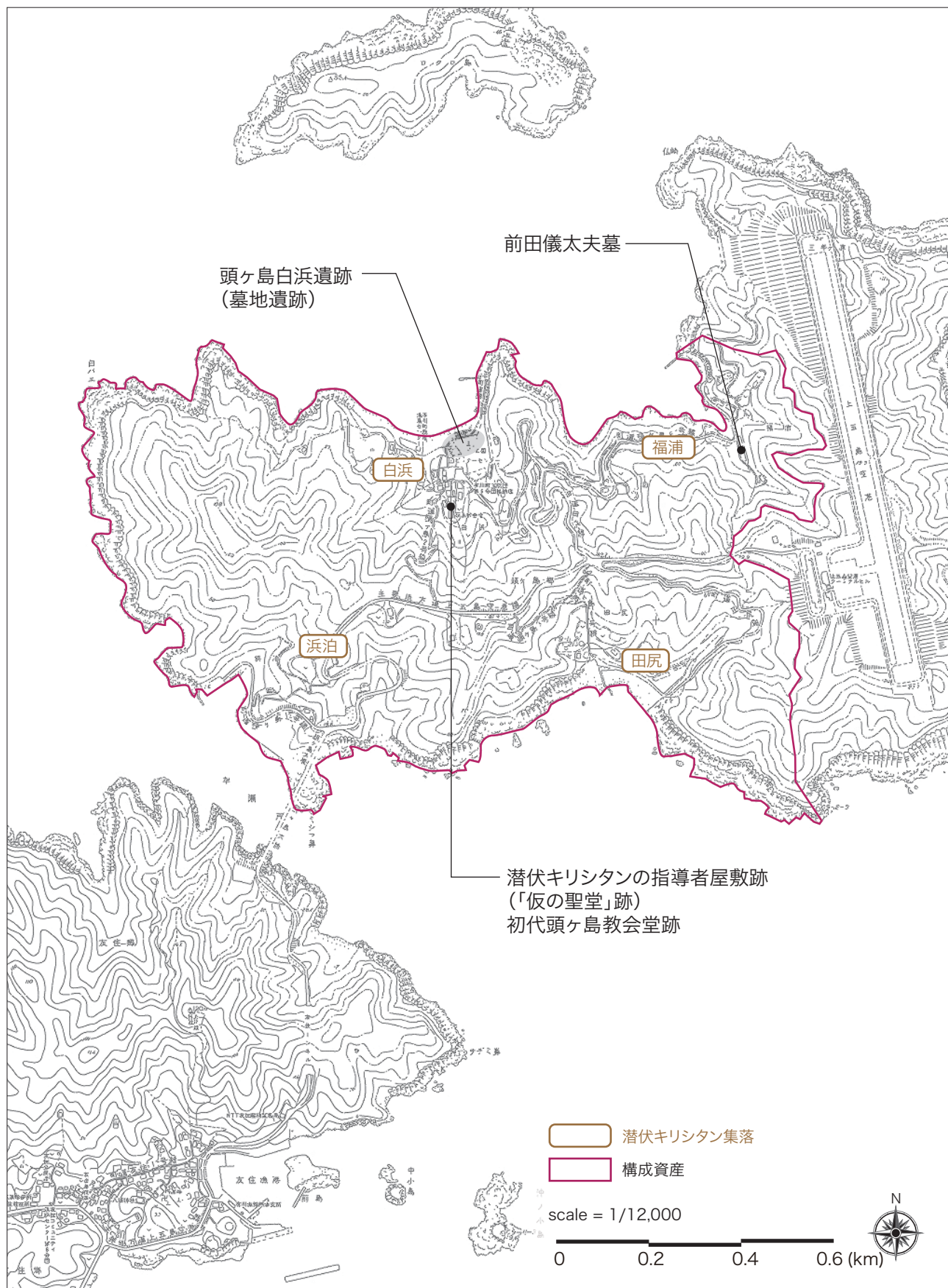
資産拡大図(008 野崎島の集落跡)

009 頭ヶ島の集落



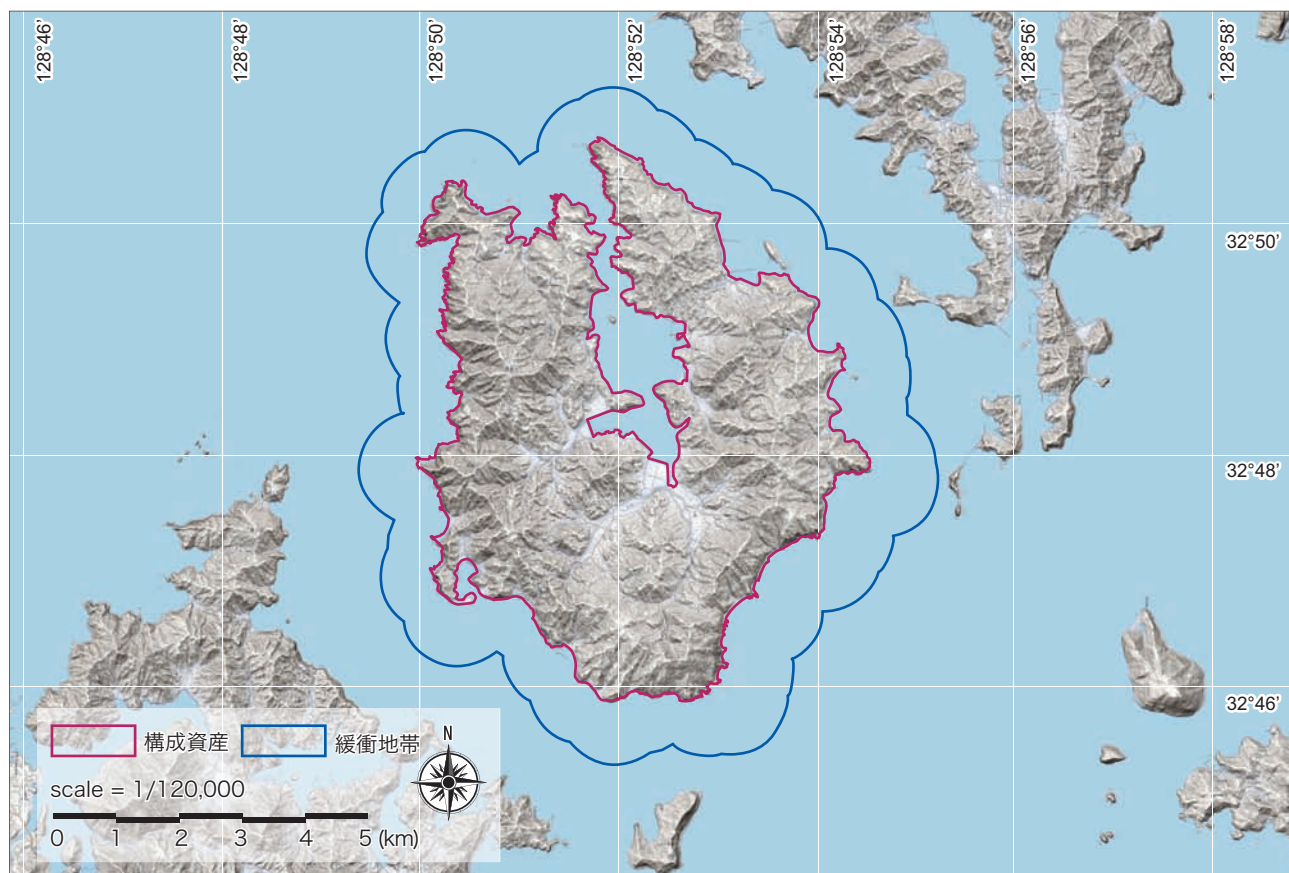
資産及び緩衝地帯の範囲図





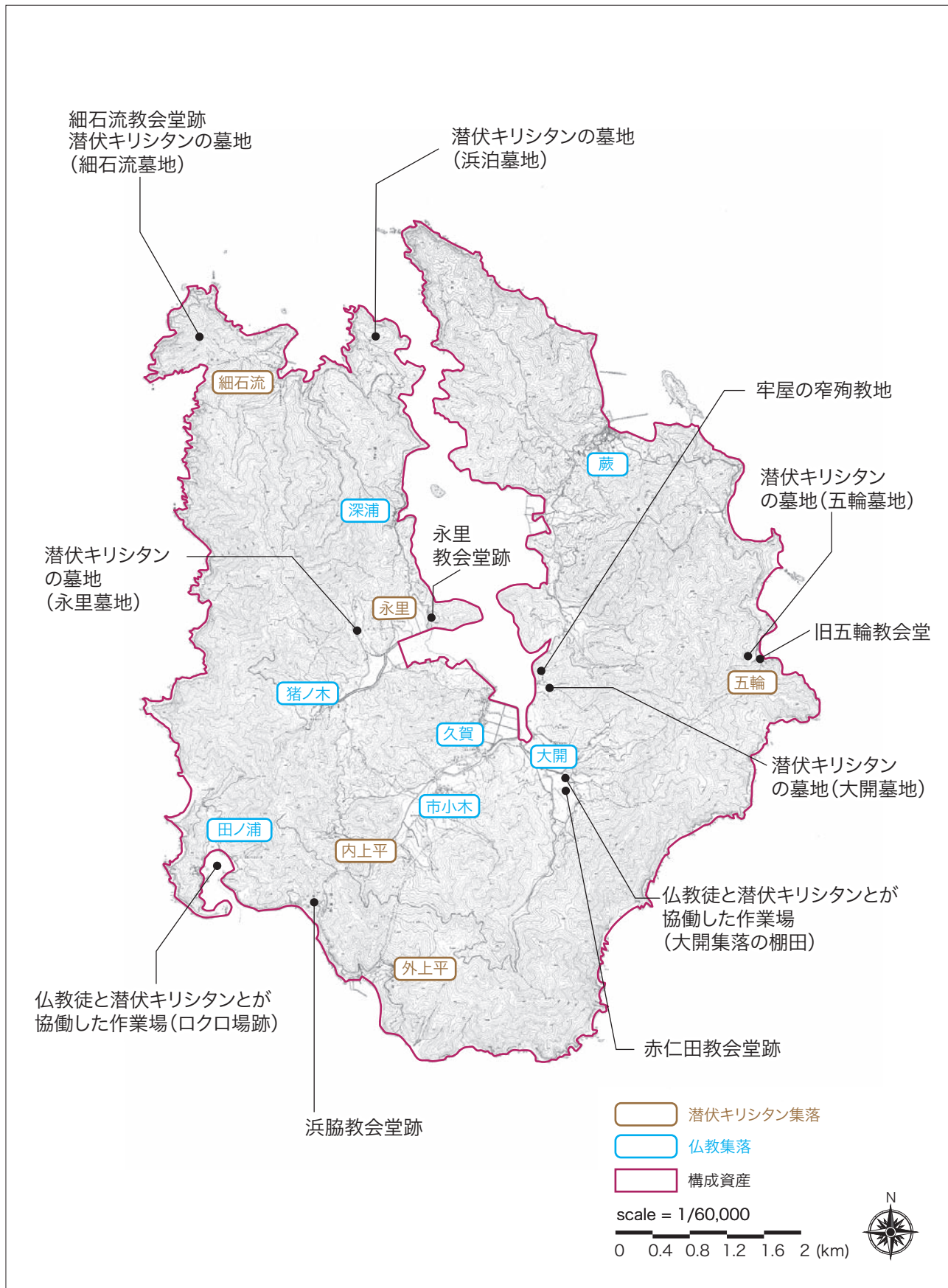
資産拡大図(009 頭ヶ島の集落)

010 久賀島の集落



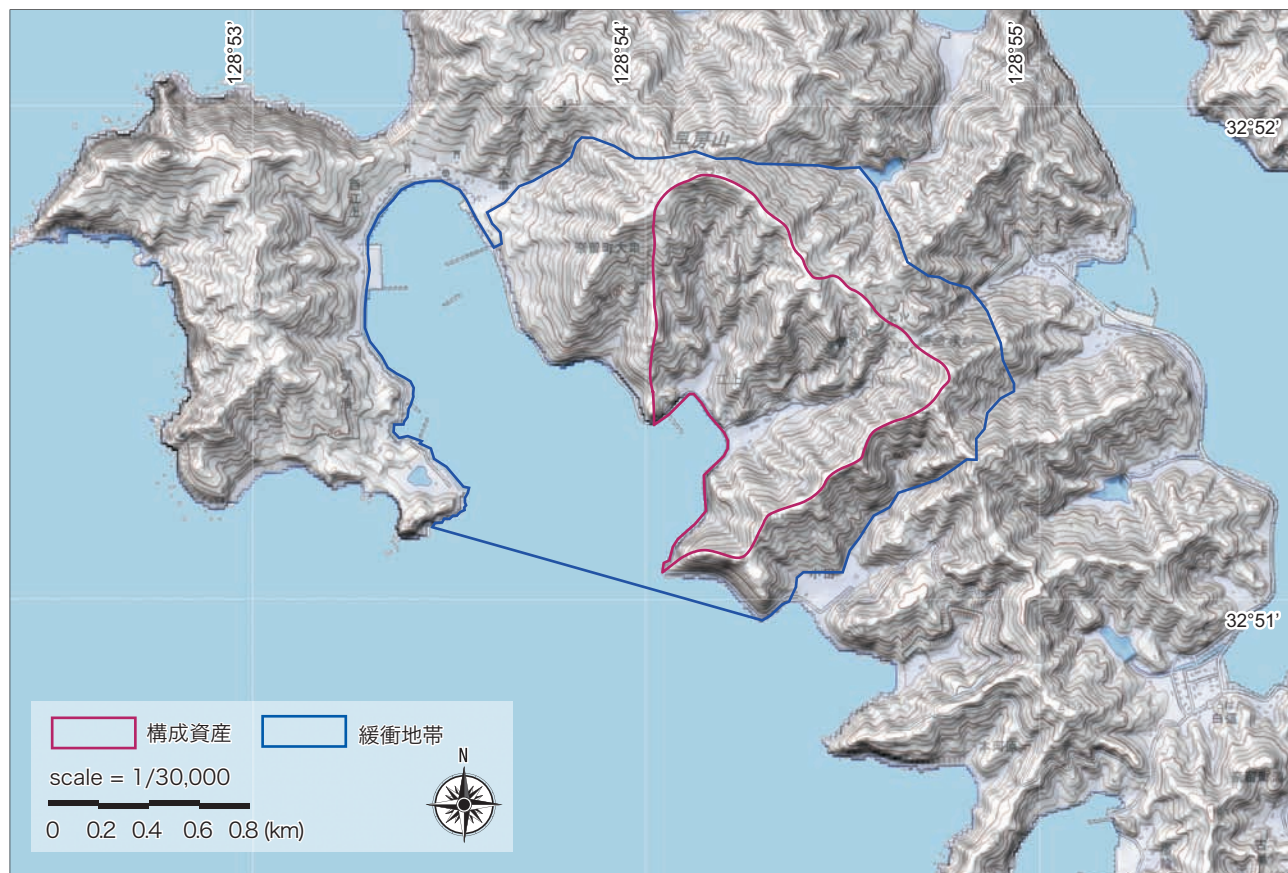
資産及び緩衝地帯の範囲図



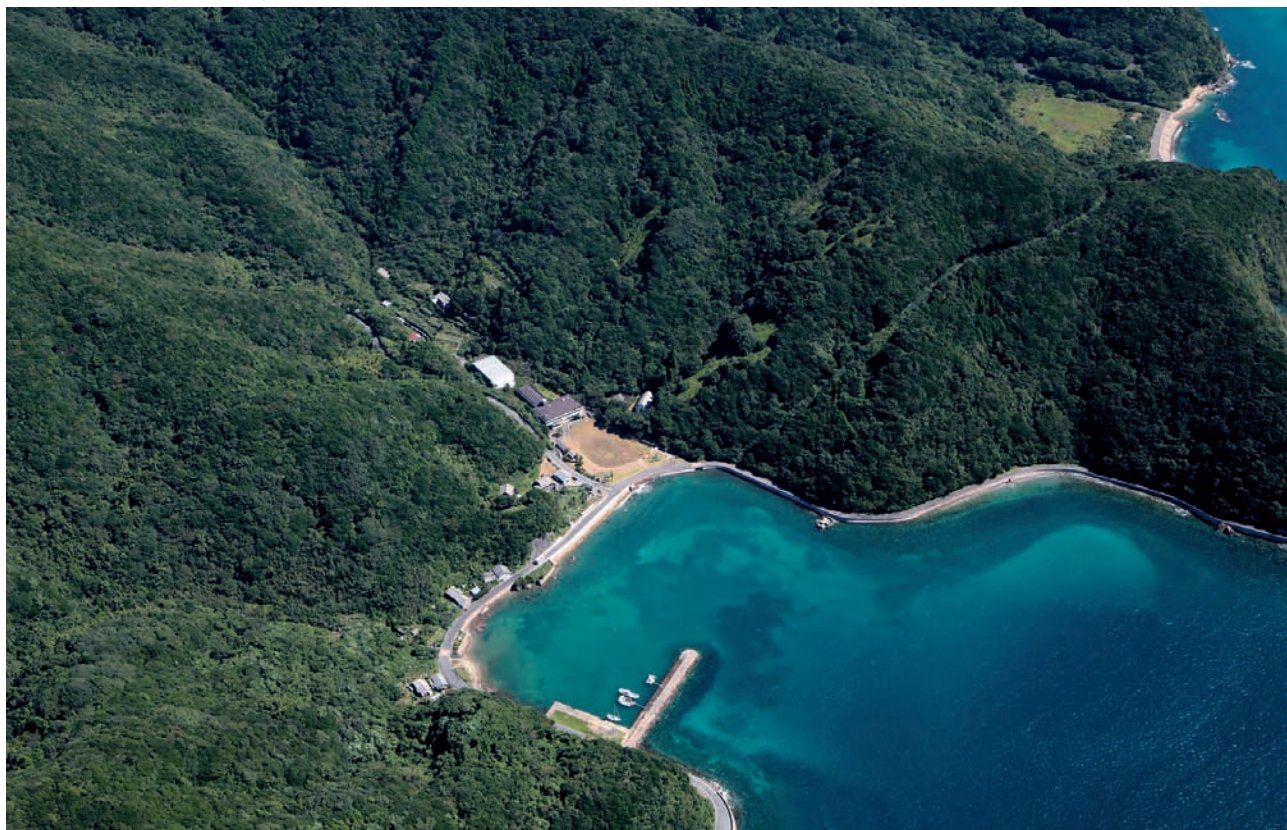


資産拡大図(010 久賀島の集落)

011 奈留島の江上集落（江上天主堂とその周辺）



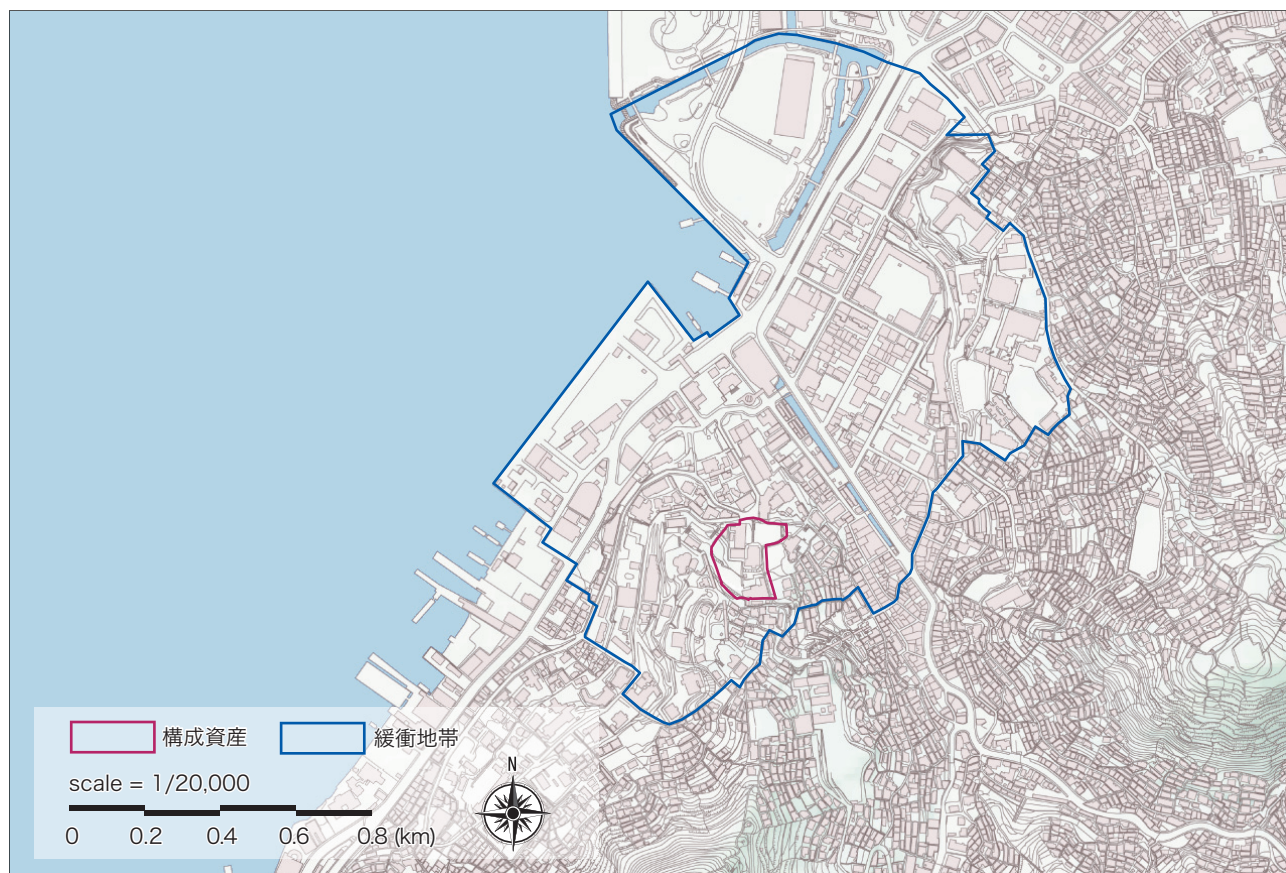
資産及び緩衝地帯の範囲図





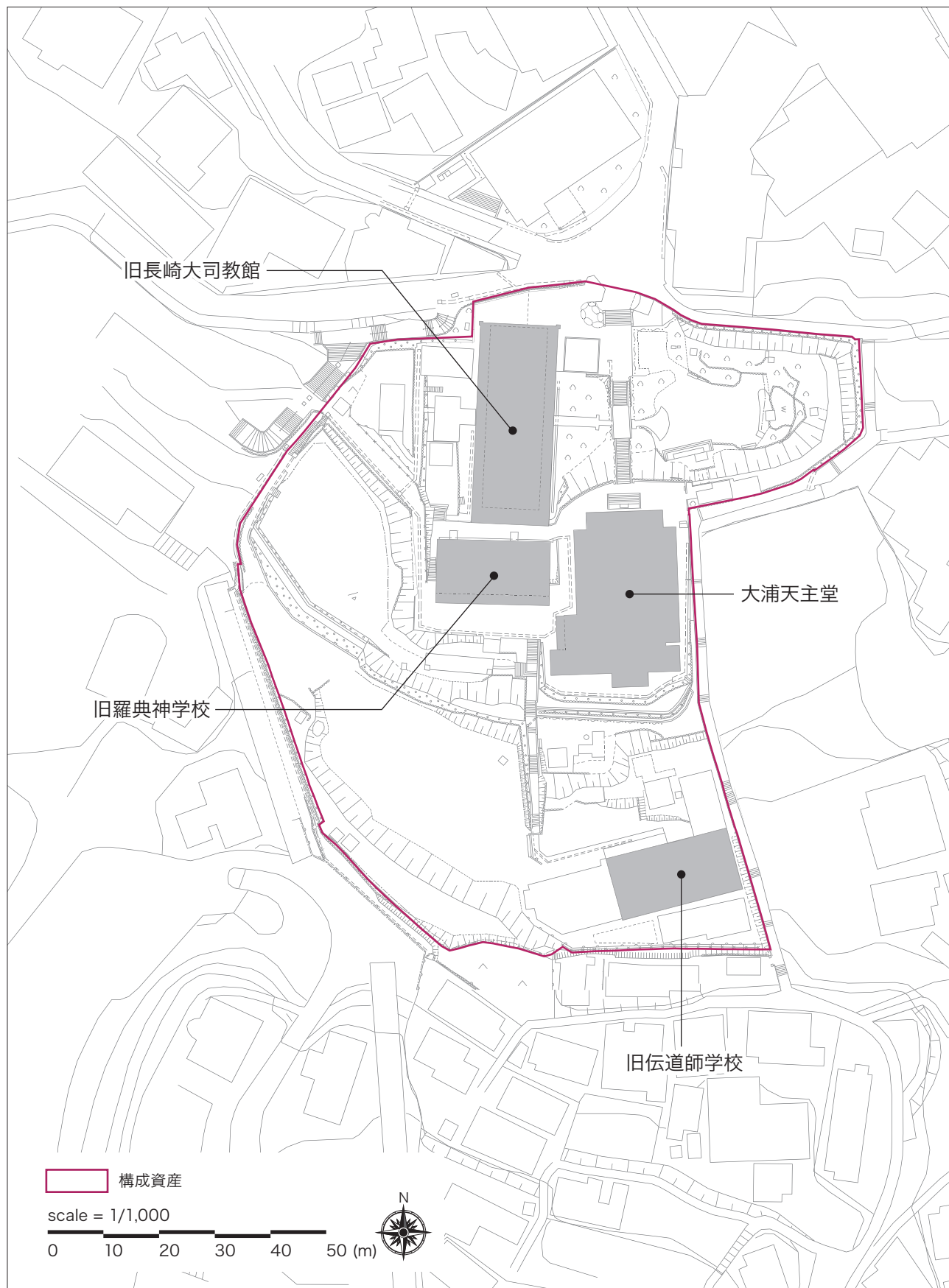
資産拡大図(011 奈留島の江上集落(江上天主堂とその周辺))

012 大浦天主堂



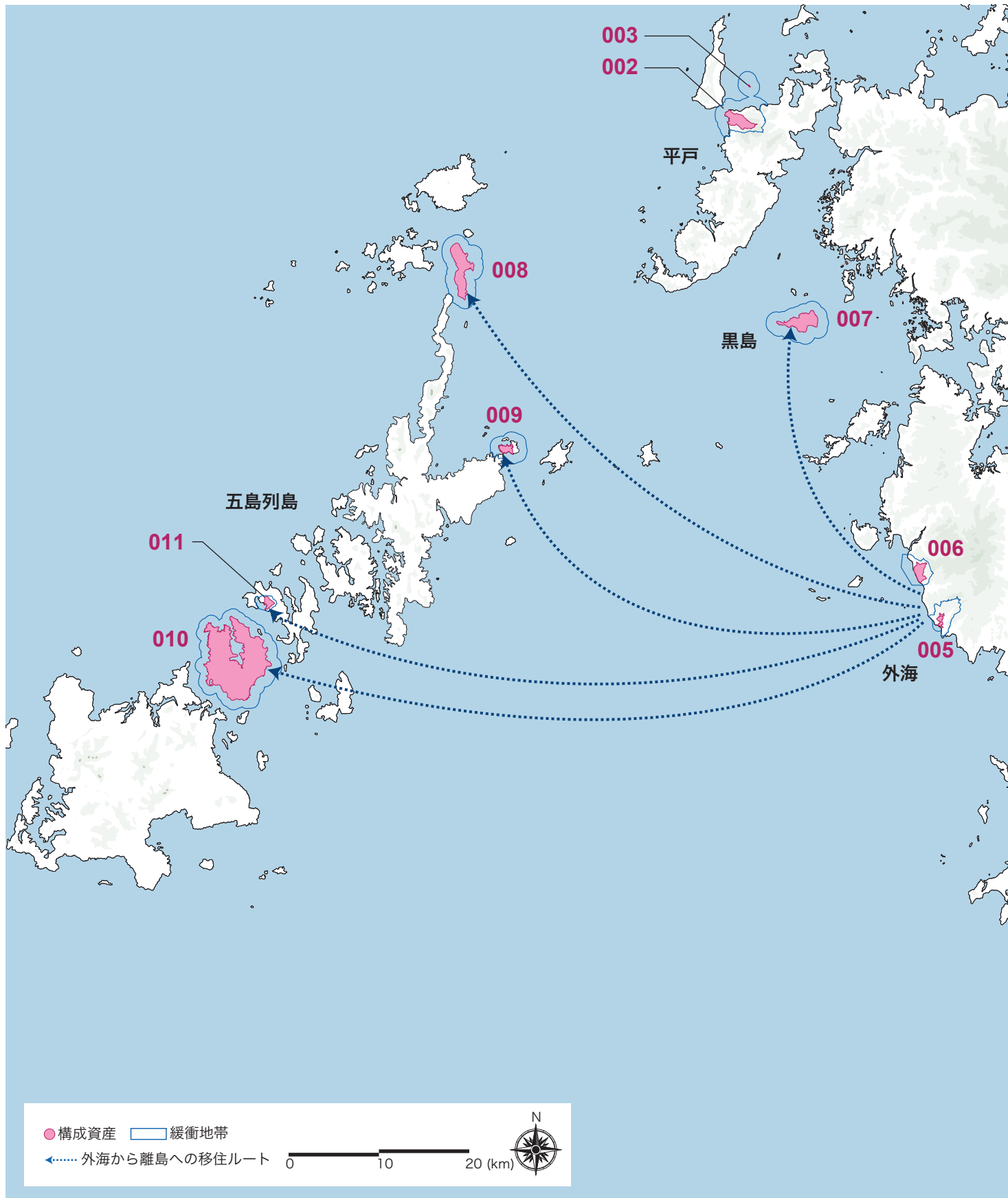
資産及び緩衝地帯の範囲図

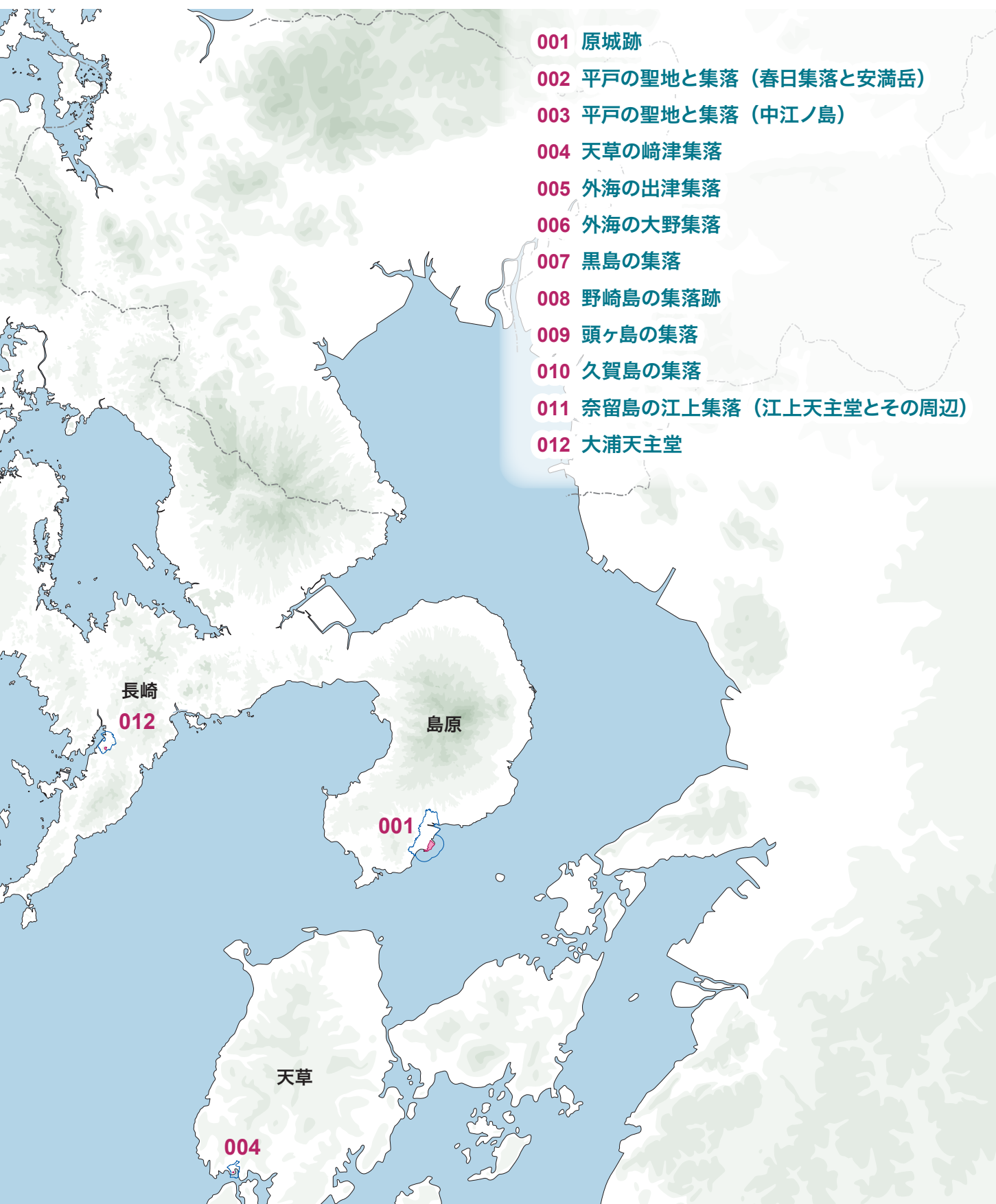




資産拡大図(012 大浦天主堂)

推薦資産及び緩衝地帯の位置図





‘blank page’



推薦書本文

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

Hidden Christian Sites in the Nagasaki Region



目次

第 1 章

資産の特質	4
1.a 締約国	5
1.b 地方	5
1.c 資産の名称	5
1.d 所在位置	5
1.e 資産範囲及び緩衝地帯の範囲図	9
1.f 資産面積及び緩衝地帯の面積	33

第 2 章

資産の説明	34
2.a 資産の説明	35
2.b 歴史と発展	179

第 3 章

記載のための価値証明	206
3.1.a 総合的所見	207
3.1.b 評価基準への適合性の証明	209
3.1.c 完全性の言明	212
3.1.d 真実性の言明	216
3.1.e 保護と管理に必要な措置	221
3.2 比較研究	223
3.3 顕著な普遍的価値の言明	249

第 4 章

保全状況と資産に影響を与える諸条件	252
4.a 現在の保全状況	253
4.b 資産に影響を与える諸条件	263

第 5 章

保護と管理	284
5.a 所有関係	285
5.b 法に基づく保護	287
5.c 保護措置の実施手段	290
5.d 推薦資産が所在する県・市町に關係する諸計画	317

目次

5.e 資産の保存管理計画又はその他の保存管理体制	323
5.f 財源及び財政水準	335
5.g 保全及び保存管理の技術における専門的知識及び研修	336
5.h 来訪者用の施設と基盤整備	339
5.i 資産の整備・活用に関する方針・計画	385
5.j 専門分野・技術・管理に関する人的措置	390

第 6 章

経過観察(モニタリング)の体制	392
6.a 保存状況を計測するための主たる指標	393
6.b 資産の経過観察のための行政上の体制	398
6.c 以前の保全状況報告の成果	400

第 7 章

資料	402
7.a 写真・スライド・図版の目録及び使用許可証、その他のビデオ等の視聴覚材料	403
7.b 保護のための指定に関する文書、管理計画の写し又は管理体制の解説及び関連諸計画	422
7.c 資産に関する最新の記録又は目録の形態及びその期日	425
7.d 資産に関する記録又は目録、公文書の発行機関とその住所	426
7.e 参考文献一覧	427

第 8 章

監督官庁とその連絡先	430
8.a 推薦書を準備した者	431
8.b 地方行政組織	431
8.c その他の地方行政組織	432
8.d 公式ウェブ・アドレス	433

第 9 章

締約国代表者署名	434
----------------	-----

附属資料 目次

附属資料 1 ミッドストリームプロセスに関する資料 (2016 年 2 月～7 月)

- a. ICOMOS ミッドストリームレポート (2016 年 7 月)
- b. ミッドストリームレポートへの反論 (2016 年 10 月)
- c. アドバイザリーミッションに用いた資料 (2016 年 4 月～5 月)

附属資料 2 地図及び図面の補足資料

- a. 構成資産及び緩衝地帯の境界図
- b. 構成資産及び緩衝地帯の線引き根拠図

附属資料 3 構成資産に関する補足情報

- a. 原城跡に関する補足情報
- b. 比較研究に用いた潜伏キリシタン集落の一覧と構成資産に含まれる潜伏キリシタン集落の補足情報
- c. 比較研究に用いた教会建築の一覧とその関係図面

附属資料 4 推薦資産に含まれる構成資産の目録

- a. 構成資産の目録
- b. 官報告示写し

附属資料 5 資産の法規制

- a. 構成資産の法規制の概要
- b. 緩衝地帯の法規制の概要

附属資料 6 包括的保存管理計画

- a. 包括的保存管理計画 (本文)
- b. 個別管理計画の概要
- c. 関係自治体における保存管理体制

附属資料 7 関係地方公共団体で適用される諸計画

- a. 関係地方公共団体の諸計画概要
- b. 政策横断プロジェクト「世界文化遺産プロジェクト」(長崎県)